

4.17 日  
13:30-

## ちゅん 脳熱な感じ誰か一緒に体験しない?? ～民間発の小さなアール・ブリュット展からみえたこと～

2016年1月に行われた、デザイン事務所発のアール・ブリュット展は、多くのお客様が訪れ話題となった。美術館で行うアール・ブリュット展ではできない素の想いがこめられたタイトル「脳みそちゅんちゅんな理由 誰かおせ～展」。そのキャッチャーなネーミングとインパクトあるビジュアルからアール・ブリュットを知らない人がおもしろそうだと、会場に足を運んだという。この「脳ちゅん展」を開催したデザイン事務所の方々、作品を貸し出した工房のコーディネーター、両者を結びつけた方を迎える作品展の振り返りをしつつ、今後、アール・ブリュット作品が北陸の地でもっと多くの人に出会ってもらうにはどうすべきか、作り手の環境作りを踏まえ考えていく。



米田昌功 (アートNPO工房COCOPELLI)

美術作家。「立山曼荼羅」の継承をはじめとする日本表現に留まらず、インスタレーション等の現代的表現、伝奇漫画の出版、アートビエンナーレの企画運営など活動は多岐にわたる。また、障がい者の表現、アールブリュットを美術の原点と捉え、2006年より県内作家の制作活動の支援、展覧会等の企画運営に本格的に取り組んでいる。アートNPO工房ココペリ副理事(コーディネーター)、人々会展員、日本美術家連盟会員、特別支援学校勤務。



野路靖人／野路明子／高嶋由衣 (六感デザイン)

企業や商品のロゴやパッケージ、広告物の制作を手がける福井市のデザイン事務所。2007年から夫婦2人で活動を開始し、2013年から現在のスタッフ構成に。「ブランドに気付き、ブランドを築く。」をモットーとし、デザイン制作だけではなく課題発見から解決までサポートし、コンセプトの見直しやネーミング、商品の企画アドバイスまで幅広く手がける。相談しやすい町医者のようなデザイン事務所になることを目指している。



酒井晴美 (教諭)

福井大学附属特別支援学校在職中に、ロボット作家「ムラタクン」と出会い、その作品の楽しさ、温かさ、そして独自の制作過程の魅力に引き込まれ、以降彼の作品展に関わるようになる。その他の活動として、障がい児・者やその仲間たちと一緒に舞台発表を行う「みんなで舞台に立とう!」を広げる会実行委員長。演劇集団である「演衆やむなし」に所属。主に女優として活動している。

6.3 金  
19:00-

## 観光とアートの有機的な関係とは? ～消費から創造への転換を考える～

近年、観光誘客の手段の一つとしてアートイベントが行われていることは、ごくごく自然の流れになりつつある。しかしながら「アート」は、イベントとして消費するものだけではなく、その土地のアイデンティティとして根付かせていく側面があるだろう。福井市は2016年4月から観光文化局を新設、観光と文化を連携し一体的・効果的な取り組みを目指すという。果たして「観光と文化」が手を結ぶとはいっていいことなのか? そしてその先には何を見据えているのだろうか。観光地が消費地だけにならないために、今考えたいタイムリーな話。



加藤種男 (公益社団法人企業メセナ協議会 専務理事)

1990年アサヒビール企业文化部課長就任以来、同社の社会貢献部門の推進役となる。全国各地のアートプロジェクトによる地域創造のネットワークとして注目されているアサヒアートフェスティバル(AAF)や、アサヒビール大山崎山荘美術館の立ち上げなど、企業の芸術文化活動(メセナ)を幅広くリード。横浜市芸術文化振興財団専務理事をはじめ、自治体文化財団の評議員やアドバイザーなどを歴任。さいたまトリエンナーレ総合アドバイザー。2008年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



朝倉由希

(静岡文化芸術大学非常勤講師／一乗・創造の谷プロジェクト)

福井市生まれ。京都大学卒業後、企業勤務を経て、東京芸術大学にて文化政策・アートマネジメントを研究。博士号取得。東京芸術大学にて学術研究員として大学と地域の連携による芸術文化事業を推進。2012年地元福井市の一乗谷にUターン後、持続可能で創造的な地域づくりにむけ、「一乗・創造の谷プロジェクト」を開始。現在、静岡文化芸術大学、福井県立大学、北陸大学等で講師を務める。



中埜浩之 (福井芸術・文化フォーラム事務局長)

福井県福井市生まれ、福井市在住。1994年、NOISE(故・如月小春主宰)のワークショップをきっかけに演劇活動開始。'99年から、東京・こまばアゴラ劇場にて平田オリザ芸術監督のもと企画運営に携わる。'01年、演劇レベル「bound」を結成し演出・プロデュースを手がける。'04年、福井にUターン後、'05年からNPO法人福井芸術・文化フォーラム勤務。'07年から、同事務局長。'15年より地元の劇団「演衆やむなし」に演出家として所属。淨土真宗本願寺派のお寺の住職でもある。

日 時：2016年4月17日(日) 13:30-15:00(受付13:00~)  
2016年6月3日(金) 19:00-20:30(受付18:30~)

トーク終了後はドリンクを飲みながら  
会場にいる皆さんと自由に交流ください。

会 場：福井 北ノ庄クラシックス  
(福井市中央1-21-36 柴田神社小路)

参加費：1,500円 (1ドリンク付き)

定 員：50名

お申込：福井芸術・文化フォーラムまでお申込みください。  
お名前/ふりがな/ご住所/電話番号/このイベントを  
お知りになったきっかけをメールまたはお電話にて  
お知らせください。

メール：[geibun@geibun.info](mailto:geibun@geibun.info)  
(件名を【4月(または6月)ハナスバ申込】)

電 話：0776-23-6905(月～金10:00～18:00/土日祝休)

※開催の1ヶ月前からお申込を受け付けます。

### ■企画・主催

NPO法人 福井芸術・文化フォーラム



〒910-0019

福井市春山2-7-1 福井市文化会館内

Tel: 0776-23-6905

Mail: [geibun@geibun.info](mailto:geibun@geibun.info)

Web: <http://geibun.info>



後 援：福井市教育委員会

### ■次回予告

次回は8月29日(月)19時～開催予定です。  
福井県出身のアーティストを迎え、芸術の  
「わかる」「わからない」の境界を参加者とともに巡ります。



### ■会場

福井 北ノ庄クラシックス

福井市中央1-21-36 柴田神社小路  
(JR福井駅西口徒歩6分)